

# 南極・北極から考える SDGsと国際共創

今、世界中の人々にとって地球環境や気候変動は大きな関心事のひとつです。地球環境や気候変動を正しく理解する上で、南極、北極での観測は不可欠です。人の手が加わっていない南極は、大昔の地球環境がそのまま冷凍保存されている“地球のタイムカプセル”とも呼ばれており、大昔の大陸の様子や気候変動、生物の進化、太陽系の成り立ちなどを解き明かす研究が行われています。極地は、人間活動による環境への影響がもっとも少ない地域であるため、他の地域に比べていち早く環境変動の兆候が現れます。本シンポジウムは、サステナブルな社会の実現とも深く関わっている南極・北極の環境(保全)や生活、南極地域観測隊というチームによる協働・共創の取り組み、極域研究における国際共創をテーマとして実施します。



写真：(公財)日本極地研究振興会提供



写真：藤原均(成蹊大学)撮影

2024

参加費無料

事前申込制

定員100名

12/21 (土)  
10:40-  
12:20

成蹊大学11号館3階ラーニングcommons



特別講師

藤井 良一 氏

(日本極地研究振興会理事長、国立極地研究所特任教授、元名古屋大学副総長、前情報システム研究機構長)

1950年生まれ(74歳)

東京大学理学系大学院地球物理修士課程修了、理学博士(東京大学)。名古屋大学太陽地球環境研究所所長、名古屋大学理事・副総長、情報・システム研究機構長等を歴任。日本学術会議会員(2014-2020年)、ノルウェー科学文学アカデミー会員。地球電磁気・地球惑星圏学会田中館賞、Beynon Medal受賞。名古屋大学名誉教授、情報・システム研究機構名誉教授。専門は宇宙科学(地球磁気圏・電離圏物理学)。

※その他の講師については現在調整中です。

- 申込先：<https://forms.office.com/r/yL2WiffLyd>  
QRコードまたは上記リンクから申込フォームにアクセスの上、お申込みください。
- 申込締切：2024年12月13日(金)17時 ※定員になり次第締切
- 問合せ先：成蹊大学 総合企画課  
TEL. 0422(37)3531 ✉kikaku@jim.seikei.ac.jp

